

平成22年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	富草野菜のブランド化事業
事業主体 (連絡先)	化石の里産直組合 下伊那郡阿南町富草 2201-3
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	483,000円 (うち支援金: 483,000円)

事業内容

1. 「富草野菜」ブランド化創出 売れる商品づくり  
「富草野菜販促用チラシ」作成 A4 カラー両面  
春夏版 10,000部、秋冬版 10,000部
2. 「富草野菜栽培講習会」の開催  
種まきから収穫までの富草小学校・阿南第一中学校  
児童・生徒による富草野菜(大根)の農業体験。  
種まき 9/7(小学生) 9/10(中学生)  
収穫作業 11/5(小学生) 11/9(中学生)
3. 対外的PR 「富草野菜」をJA店舗で販売

春夏版



秋冬版



【富草野菜販促用チラシ】



【小学生の種まき】



【中学生の収穫】

事業効果

- チラシを配布することで、「富草野菜」のブランド名と、他の地域の作物との違いを明確に示し、「富草野菜」の商品価値を広くアピールすることができ、例年より早く完売となり、売上増加につながった。(売上前年対120%)
- 地元の小・中学校児童・生徒による農業体験により、地元の子どもたちが、「富草野菜」に愛着を持ち、地域の暮らしや農業の役割などを体得することができた。
- 「富草野菜」の販売・PR活動を通して組合員の士気も大いに揚がり、遊休農地の活用ならびに販売意欲が高まった。

自己評価 (事業実施率) 【 A 】

【目標・ねらい】

- 「富草野菜」のブランド化
- 「富草野菜」の販路拡大
- 地元小・中学校児童・生徒の農業体験の支援

自己評価 (目標達成率) 【 A 】



【JA店舗販売の研修会】

今後の取り組み

地元や東京・名古屋方面にチラシを配布し「富草野菜」ブランド化が本格的にスタートした。これにより組合員の士気が大いに揚がり、販売の研修や農地の拡大など意欲が高まった。さらに、売れ行き好調の大根の生産量を増やし、売れる商品づくりの工夫を研究し、販売を促進したい。また、地元の小・中学校児童・生徒による農業体験の支援を今後も継続して行い、地域活性化と学校教育の一翼を担いたい。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。

112  
✕